

2023年9月版

InfoBarrier V11が 業務を革新的にサポート！ シーン制御編

富士通株式会社



FUJITSU



© 2023 Fujitsu Limited

InfoBarrier V11 機能概要



【ご参考】 InfoBarrier V11の製品体系

前バージョンV10製品に該当するV11製品は以下になります

【V10(旧バージョン)】

InfoBarrier V10

InfoBarrier V10 Plus ※

InfoBarrier V10 Plus Standalone



【V11(新バージョン)】

InfoBarrier V11 Control

強化

InfoBarrier V11 Control ※

InfoBarrier V11 Logger ※

InfoBarrier V11 Management ※

InfoBarrier V11 Guidance

新機能

InfoBarrier V11 Analysis ※

新機能

InfoBarrier V11 Standalone

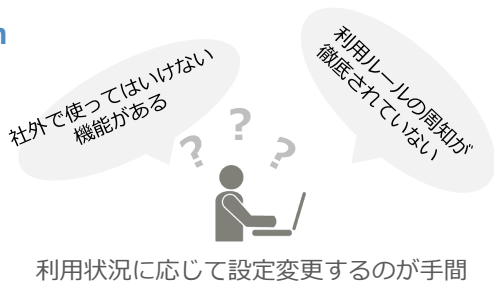
強化

※サーバ製品必須

操作制限内容の自動切換（シーン制御）

- 利用状況(シーン)に応じて**操作制限内容を自動的に切り替える**ことで利便性を向上

Problem



Solution | シーン（業務や場所など）に連動した自動切換え

【新機能】

- ・ 利用シーンに応じた制御内容を設定
 - ・ 社外で利用できないアプリや機能を設定
 - ・ 特定の条件に応じて制御内容が自動適用
- ※特定条件例：接続ネットワーク、起動アプリ、接続媒体等

利用イメージ

業務での自動切換

【特定業務】

必要なアプリのみアクセス可



業務に紐づいた
アプリのみ
起動可能

【汎用業務】

不必要なアプリへの
アクセス不可



場所による自動切換

【社内】

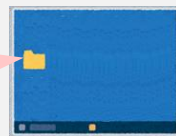
制限なし



【自宅・その他】





制限あり

社外で利用で
きるアプリのみ表示
& 起動可能







case study : 具体的な利用シーン①

* 制限内容は様々な組み合わせが可能です

職種		制限シーン（業務）	自動制限内容
外出が多い職種	営業（MR含） CE（現場） など	営業（MR含む） <ul style="list-style-type: none"> ・お客様への訪問：表敬、商談 CE（現場作業員） <ul style="list-style-type: none"> ・工事進捗 ・機器修理／定期保守メンテナンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務アプリとファイルの指定 ・持ち出し未許可ファイルへのアクセス ・未許可アクセスポイントへの接続 
	人事・総務	個人情報をはじめとする 人事データベースへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・外部媒体へのアクセスと利用 ・ファイルのコピー／複製 ・スクリーンショットとカメラ起動 
機密情報へアクセスすることが多い職種	製品企画 開発・SE	<ul style="list-style-type: none"> ・開発端末の起動 ・開発／設計ファイルへのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ・社外未許可サイトへのアクセス ・設計関連ファイルへのアクセス ・ファイルのコピー／複製 
	会計・税務	経理／会計アプリの起動 <ul style="list-style-type: none"> - 決算 - 銀行取引、請求 - 給与賞与計算、年末調整他 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数アプリの同時起動 ・経理／会計関連ファイルの自動保存 ・ログイン時の強制認証 
数多くの業務アプリを使用する職種			

case study : 具体的な利用シーン②

* 制限内容は様々な組み合わせが可能です

職種		制限シーン（場所）	自動制限内容
外出が多い職種	営業（MR含） CE（現場） など	<ul style="list-style-type: none"> ・他拠点事業所 ・自宅 ・その他（公共スペースなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他拠点事業所：自動切換えなし 
機密情報へアクセスすることが多い職種	人事・総務	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 ・その他（公共スペースなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅：PC起動の二段階認証 社内イントラへの接続 特定アプリへの接続 
	製品企画 開発・SE	<ul style="list-style-type: none"> ・他拠点事業所 ・自宅 ・その他（公共スペースなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他：PC起動の個人認証 未許可アクセスポイントへの接続 <ul style="list-style-type: none"> ・モバイルルータ ・スマートフォンテザリング ・自宅Wi-Fi ・ゲストWi-Fi ・有料／無料Wi-Fi  
数多くの業務アプリを使用する職種	会計・税務	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 	

- 製品の最新情報については、HPをご確認ください



- 製品に関するお問い合わせ・製品購入および技術サポート窓口

富士通株式会社

スマートワークソリューション事業部 ソリューション部

contact-pkg-biz@cs.jp.fujitsu.com

(ご参考)
Fujitsu デジタルアダプション
InfoBarrier V11

製品体系 / 機能一覧

InfoBarrier V11 製品体系

InfoBarrier V11では、お客様のご要件や課題に合わせて機能を選択。段階的にレベルアップして頂けます

システム構成	製品名	機能
サーバ/ クライアント型	InfoBarrier V11 Control	操作制御機能 クライアント端末の操作制限を行います。デスクトップ、アプリケーション、ドライブ制御等、各クライアント端末の制御を行います。Windowsポリシーによる制御も含まれます。 また、ファイル暗号化設定、特定外部媒体制御機能（クライアント・サーバ運用）、シーン制御機能も含まれます。
	InfoBarrier V11 Logger	操作ログ管理機能 クライアント端末の操作ログ収集を行います。 また、リアルタイムアラートも含まれます。
	InfoBarrier V11 Management	資産管理機能 クライアント端末の資産管理機能を行います。 また、遠隔サポートも含まれます。
	InfoBarrier V11 Analysis	ユーザビリティ分析支援機能 クライアント端末のユーザビリティ分析支援を行います。 設定した業務をユーザが行った際のマウス・キーボードの操作回数、クライアント端末のリソース情報などを取得します。
	InfoBarrier V11 Guidance	操作支援(ガイダンス)機能 端末で行うファイル暗号化設定に操作ガイダンスを追加します。 InfoBarrierV11 Control Clientを併用すると特定外部媒体制御にもガイダンスを追加します。 InfoBarrier以外のアプリケーションでガイダンスをしたい場合には、カスタマイズ（個別見積）にて対応となります。
スタンドアロン型	InfoBarrier V11 Standalone	スタンドアロン型 Control、Logger、Analysis の機能をスタンドアロンで利用可能にした製品です。特定外部媒体制御機能は、スタンドアロン運用で可能な画面となります。ログはサーバには送られず自端末に蓄積されます。 ※ 各端末単位での改善・評価・最適化となります。

InfoBarrier V11機能一覧

各製品の機能※1と必要ライセンスにつきましては、以下となります。

製品	必要 ライセンス	機能									
		操作制限	シーン 制御	特定外部媒体 制御	操作ログ 収集	リアルタイム アラート	資産管理	遠隔 サポート	ユーザビリティ 分析支援	操作 ガイダンス	ポリシー 配信
Control	クライアント	●	●	●※3							
	サーバ			●							●
Logger ※2	クライアント				●	●					
	サーバ				●	●					●
Management ※2	クライアント						●	●			
	サーバ						●	●			●
Analysis ※2	クライアント								●		
	サーバ								●		●
Guidance	クライアント									●	
	サーバ										●
Standalone	クライアント	●	●	●※4	●				●	●	

※1 機能適用の対象は、クライアントのみとなります。サーバへの機能適用は、対象外となります。

※2 該当機能はクライアント単体での利用はできません。利用するにはサーバを導入する必要があります。

※3 ワークフロー(WF)機能はクライアント単体では利用できません。利用するにはサーバを導入する必要があります。

※4 指定外部媒体以外の利用禁止が可能。ワークフロー(WF)機能はありません。

Thank you

